

2022年11月11日

湘南国際村めぐりの森 育樹作業記録

(株) 研 進 出 縄 貴 史

掲題植樹事業について、下記の通り作業を実施しました。

記

1. 日時：2022年11月11日（金）10：00～12：00
2. 場所：湘南国際村めぐりの森植樹地 C地区（横須賀市道沿い） & A地区
3. 参加者：湘南の凧mai!えるしい4名、横須賀へーメット4名、研進1名、合計9名
4. 納品した苗木：10種類96本（進和学園90本、横須賀へーメット6本）
＜タブキ、スタジイ、アラシ、シラシ、アカシ、シャリンバイ、トベラ、ガマズミ、ムサキギブ、アトボシ＞
＊アトボシ30本は、一般社団法人Silva様に別途植えて頂くので、所定場所に納品。
5. 作業：①除草&補植66本（C地区「モッチの樹P」植樹地を中心に植樹）
②地盤改良（C地区「モッチの樹P」植樹地）
③新植樹地の地盤造成（A地区の未植樹エリア）



ワゴン車で苗木を納品



作業開始前に集合写真～補植用の苗木と共に～

① 除草&補植66本



C地区「モッチの樹P」植樹地の除草と北東周辺部を中心に66本を補植した。

②地盤改良（C地区「モッチの樹P」植樹地）



C地区「モッチの樹P」植樹地は、逗子泥岩が地表に迫り、客土も行わずに人力で地盤を耕起しているため、地盤が固く水脈や栄養も不足している。地盤改良のために、左掲の道具を使用して植樹した苗木の10～20cmの周囲に穴を掘り、進和学園で作っている「竹炭粉」を入れて、地盤の通気・水脈を促す改良を試行することとした。



ドライバー、ハンマーを金槌で叩いて、苗木周囲に数ヶ所穴を開ける。
(俗称:グリグリ工法)



地面に開けた穴に竹炭粉を入れ込む。その上に、刈り取った雑草をマルチングとして被せる。

③新植樹地の地盤造成（A地区の未植樹エリア）



A地区において未だ植樹していないスペースの雑草を刈り取り、新たな混植・密植方式による植樹地を確保する。2023年春に「モッチの樹P」の候補地とし地盤を造成する予定。

以上